※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	（学）保育演習Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京出版）						
副教材等	2024　最新　生活ハンドブック　資料&成分表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

乳幼児の誕生から幼児期までの発育・発達についての知識を理解する。それぞれの時期に応じた適切な保育の重要性について学習する。パネルシアターや絵本読み聞かせなどの保育実習を多く取り入れ実践的な能力を育てる。ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力も身につきます。

２　学習の到達目標

保育実習を多く取り入れ実践的な能力を育成することを目指す。
・子どもの発達や特性や発達過程、保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴や文化、保育などに関する知識と技能を身につけている。
・子どもの表現活動や子育て支援について理解するとともに、関連する技術を身につける。
・児童福祉の必要性について、具体的な問題を通して考え主体的に考え理解しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的・基本的な技術と知識を身につけている。子どもと触れあい、子育て支援を行っている人々と交流するなどの学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけるようにする。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、保育全般に関わることに対して適切に判断し、創意工夫し、表現する能力を身につける力を養う。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、積極的に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につける力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	子どもの生活と保育	①子どもの食生活 ②子どもの衣生活 ③子どもの健康と安全	a:子どもの生活環境を整えることの重要性を理解できている。 b:栄養と食生活、乳児の食事、幼児の食事について理解すると共に、現代の乳幼児の食生活の現状を理解し工夫しようとしている。 c:乳幼児の衣服の特徴について理解できている。	小テスト	ワークシート 実習課題	実習課題 実践発表
	子どもの福祉・子育て支援	①現代の子育ての環境 ②児童福祉について ③子育て支援 ④地域や社会との関わり	a:現代の子育ての現状を把握できている。 b:児童福祉、子育て支援についての知識を深める。 c:子どもが健やかに育つ社会の実現のために家庭保育や集団保育の関わりを理解しようとしている。	小テスト	ワークシート 実習課題	実習課題 実践発表
	子どもの触れあいから学ぶ	①児童文化財製作と発表 ②子どもの遊び ③保育実習	a:子どもの成長と遊び・道具の変化を理解している。 b:児童文化財の製作が工夫できている。 c:児童文化財を使用した実践発表ができている。	小テスト	ワークシート 実習課題	実習課題 実践発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度